

特集

レジリエンス

災害に耐えうる
地域社会のために

めぐる

CONTENTS

特集

レジリエンス

災害に耐えうる地域社会のために…1〜4

インタビュー

熊本地震で生かされたコミュニティづくり

レジリエンス―災害が起きる前に考えたい、

私たちにできること

災害時に「WEショップ」だからこそでできること

WE 21 ジャパン・グループ各地 NPO

東日本大震災復興支援

WEフェスタ春

65

No. 77

WE 21 ジャパンニュース

私は、約20年にわたり、益城町でまちづくりに携わり、手話、教育、川の清掃など、様々な分野で活動してきました。1997年の阪神淡路大震災のあと、防災ボランティア組織を立ち上げました。益城町は布田川断層帯が町の中央を東西に横断しているので、「他人事ではない」と思ったのです。



4月16日地震直後の避難所の様子



カフェスペース「きままに」。ここでお茶をするのが楽しみのひとつという入所者も多い

被災直後のボランティアは起きませんでした。役割分担を私たちが役割分担を一切決めませんでした。役割分担をする、できない人に負担になり、食事を支度するなど、日常を取り戻していききました。

避難所では、早い段階で普段の生活を取り戻すことが重要です。自分たちで動けるようになったら、日常的なことを皆で協力しあい、笑顔が絶えない明るい避難所になって、生活再建に向かうことができました。コミュニティの重要性を感じました。

吹き出し訓練、AEDなどの救急救命訓練、布田川断層帯についての学習、年一回の「忘れまじ、阪神淡路」と題したイベントなどを実施していました。これらの経験と知識のおかげで、今回の地震にも落ち着いて対処できました。また、全国で同じような活動をしている組織と交流し、阪神や東北の教訓を学んでいたことも、大変役立ちました。

「コミュニティ形成の重要性から、私がまず心がけたのは「誰もが顔見知りになれる雰囲気づくり」でした。皆に声をかけて避難通路や非常口を作り、「出かける時は布団をたたんでください」「布団やその周りも掃除してください」「掃除用具はお隣さんに貸してください」とお願いしていったのは、声をかけることにより顔見知りになるきっかけになるからです。そして、ひとりである人には、10時になると「お茶を飲むよ」と声をかけました。世間話から始まり、少しずつ自分の家の被災状況を口に出して言えるようになり、ふさぎ込んでいた人たちが徐々に元気になるようになっていきました。

7月には最初の仮設住宅「テクノ仮設」が完成しました。せっかく避難所でできたコミュニティを、これからの生活再建に活かすため、テクノ仮設に移動する人たちは、隣同士に入居できるように役場に交渉し、希望をかなえてもらいました。今は、益城中央小学校から引越した16世帯が同じDブロックの隣同士に暮らしています。隣近所に住む人たちと気軽に声を掛け合い、行き来できる間柄であるのは、安心感があり、孤立化が防げます。

まちづくりや防災ボランティア活動に取り組む

日常を取り戻すために
—コミュニティ形成—

避難所から仮設住宅へ、
そしてこれから

ここは、震災当初は自主避難所でした。他の指定避難所

特集 レジリエンス 災害に耐えうる地域社会のために

*レジリエンス—復元力、回復力

2016年4月に2度の大地震がおきた熊本県益城町、益城中央小学校の体育館は8月18日まで避難所として使用され、多い時には400人が避難生活を送っていました。この避難所は、生活再建に向けて避難住民たちが支えあいながら自主運営した例として、行政やNPOなど多くの人が視察に訪れ、避難所のお手本とも言われています。その避難所で、リーダー的な存在となり避難者から「おかあさん」と呼ばれた吉村静代さんに、お話を伺いました。

PART 1

熊本地震で生かされた「コミュニティづくり」インタビュー

大家族のような避難所



整然と段ボールベッドが並ぶ。外出時はカーテンを開けて風通しをよく

訪れた人たちは、体育館に入ってすぐに他の避難所との違いに気づきます。玄関には靴や備品がきれいに整理整頓され、受付のテーブルの上には、いつも花が活けられていました。中に入ると、段ボールベッドが整然と並び、お茶を飲みながら語り合える「コミュニティカフェ」、おもちゃや本が並び、子どもたちが遊べる「キッズサロン」、いっしょに食事ができる「会食コーナー」などが設けられていました。

最も長い人で4か月にわたった避難生活。人々は家族のように、学校や職場に行く時には「行ってきます」「行ってらっしゃい」、帰ってきた時は「ただいま」「おかえり」と声を掛け合いました。自宅や仮設住宅に移っても連絡を取り合うほど仲良くなりました。



キッズサロン



よしむら しずよ
吉村静代さん

1950年熊本生まれ。1992年「地域づくりボランティア団体・益城町おこし塾」結成。「益城だいすき大作戦」として、郷土の文化や味を継承するイベントや、環境美化活動など地域に根ざした活動を展開。以降も「益城町ボランティア連絡協議会」、阪神淡路大震災を機に「防災ボランティア益城」などを結成。熊本地震の際には、指定避難所である益城中央小学校体育館に入所後、「主役はわたしたち～明るく楽しい避難所 きままに～」をモットーに、自主運営に向けて活動開始。避難者自身が快適になれるアイデアをいかした運営で、2か月目から完全自主運営へ移行。避難所のモデルケースを目指す取り組みを実施。現在も仮設住宅でのコミュニティ形成のために「益城だいすきプロジェクト・きままに」を立ち上げ活動中。

PART 2

レジリエンス

「災害が起きる前に考えたい、
私たちにできること」

レジリエンスとは？

英語の Resilience は、

- 1 (病気・不幸・困難などからの) 回復力、立ち直る力、復活力、
- 2 (変形された物が元の形に戻る) 復元力、弾力 (性)

の意味を持つ言葉です。

※引用元

英辞郎 on the WEB (アルク)

精神医学や心理学の用語として使われてきましたが、阪神・淡路大震災や東日本大震災を経て、防災の分野でもその重要性がクローズアップされる機会が増えています。南海トラフ地震や首都直下型地震の発生が高確率で予測されるなか、「予防力」も必要不可欠ですが、予測される被害を全て抑える設備投資を行うことは現実的には不可能です。

そこで、災害により被害が出ることを想定した上で、たとえ被害を受けたとしても、そこからいち早く回復する力、しなやかに立ち直る力、つまりレジリエンスが重要になるのです。

「コミュニティの結束力が、災害から立ち直る力になる」

レジリエンスとは、具体的に何を指すのでしょうか。

『災害社会学入門』において、レジリエンスは「地域や集団の内部に蓄積された結束力やコミュニケーション能力、問題解決能力に着目する概念」と記載されています。

パート1の益城中央小学校の避難所では、「人々が日常を取り戻すためには、コミュニティ形成が必要だ」と考えた吉村さんの働きかけにより、まるで大家族のようなコミュニティができ、お互いに助け合い、支え合うことにより災害から立ち上がり、人々が生活再建に向けて次のステップに進んだ様子をご紹介します。

「日常を取り戻す」力が、まさにレジリエンスであると言えますが、その原動力となるのは、「コミュニティの絆や結束力であることが明示されていました。

普段からの顔の見える関係、声を掛け合うことができる関係をつくることが重要なポイントとされています。

阪神・淡路大震災では、地震によって倒壊した建物から救出され生き延びることができた人の約8割が、家族や近所の住民などによって救出されているという調査結果があります。災害時には、地域で助け合うことが大変重要になります。

私たちも地域でできることを考えてみませんか？

PART 3

災害時に

「WEショップ」だから「ぞでわる」

地域の助け合いの拠点「WEショップ」

モノ（物資）

- ◇必要な物資の情報を共有し、WEショップの販売品を提供する。
- ◇衣類、日用雑貨（歯ブラシ、爪切り、タオル）、食器などを提供する。

情報

- ◇被災状況、利用できるサポートなど、知り得た情報を提供する。
- ◇高齢者、女性、子ども、外国籍市民など災害時の弱者に役立つ情報を提供する。

WEショップにある資源（人・モノ・カネ）を活かして支援する

WE21 ジャパン『チャリティショップとしての災害支援ガイドライン』より

人

- ◇避難所やWEショップで傾聴する。
- ◇支援衣類の仕分けを手伝う。
- ◇ボランティアのコーディネートを行なう。
- ◇高齢者、女性、子ども、外国籍市民など災害時に弱者が置かれる環境に関心を寄せ、寄り添う。

カネ

- ◇緊急募金、寄付金の取り扱い窓口になる。

まとめ

益城町の吉村さんのお話から、災害時には地域でお互いに助け合いながら日常を取り戻していくことで、生活再建へ向けた次のステップへと向かうことができるということ、そのためには、一人ひとりが防災などについての知識と経験を積み重ねておくこと、そして、地域内だけではなく、県内外の離れた場所にも、お互いに助け合える緩やかなネットワークを持つておくことが大切であることが見えてきました。

WEショップとしても、ショップにある資源（人・モノ・カネ）と日々の活動の経験を活かして支援を届けられるよう、普段からの準備をしていきたいと思っています。そしてWEショップが、困った時に頼れる場所になれるよう信頼を築いていきたいと考えています。

災害時にチャリティショップができること「ザ・ピープル」の事例

特定非営利活動法人ザ・ピープル
理事長 吉田恵美子さん

福島県いわき市でチャリティショップを運営する「ザ・ピープル」は、東日本大震災発生時には自らが被災者となりながらも、他の被災者への在庫古着の提供、被災地に届けられる膨大な数の古着の仕分けとリサイクル、被災者自身が地元の野菜を使って調理する炊き出し、さらにボランティアセンターの運営などを行いました。

関西の企業から提供されたカーペットが、行政の倉庫に1週間放置され活用されなかった経験から、自分たちが動かしかなければいけません。また、被災現場では、被災者のニーズと配布される物資のミスマッチが多く見られたため、御用聞きスタイルの支援物資配布を進めました。

ボランティアセンターの運営はノウハウを持つていなかったため、九州の専門家の指導を受け、専門家が帰った後も自分たちが担っていくようにひとつひとつ学んでいきました。

- ① 災害時に連携できる広域的ネットワーク
- ② 緊急時に対応できる物資の備蓄
- ③ 救援物資としての提供に関する指針
- ④ 送付されてきた救援物資のうち、古着を適切に仕分けられる人材の育成
- ⑤ ストックヤード（一時保管所）との連携
- ⑥ 救援物資の最終処分ルート確保



ボランティアセンターの運営



御用聞きスタイルの支援物資配布

（2016年9月、第1回日本チャリティショップ・ネットワーク研修会「災害に対するチャリティショップの機能強化」での発表より）

コラム

神奈川県平塚市真土地区 「生きていたくなるまちづくり」

災害への対応力を強化するために

関東大震災で大きな被害を受けた平塚市では、阪神・淡路大震災後、防災への関心が高まり、震災被災の対策に力を入れ、市民もそれなりの危機感を持って地震に強いまちづくりにこたわりました。しかし、日が経つにつれ、その危機感も薄まり、高齢化、小家族化、地域での人の繋がりが薄くなる中で、災害への対応力が弱くなりました。そこに危機感を抱いた「NPO法人暮らしと耐震協議会」の木谷正道さんは、「生きていたくなるまちづくり」のために、地域でのコミュニティづくりに取り組み始め、2015年10月に真土地区の連合自治会や社会福祉協議会、真寿会（老人会）など7団体で「ふれあいまちづくり実行委員会」を立ち上げました。

地域住民が支え合うまちづくり

元気な高齢者が中心となり、若い世代にも加わってもらいながら、楽しい歌集づくりと全戸配布大作戦、空き部屋を活用した居場所づくり、囲碁サロンなど住民が楽しく参加できるイベントを定期的に行っています。ふれあい音楽祭では、以前は外出も控えがちだった住民も参加し、減る一方だった真寿会の会員が増えたそうです。民生委員の発言をきっかけに地域防災の議論が起き、地震減災の切札として家具固定と地域ぐるみ耐震化の取り組みも始まりました。

木谷さんは、「真土は超高齢社会のモデルとなるだろう。地域で住民が支えあう習慣は世界では珍しく、日本の最大の強みになる」と言います。「誰もが楽しく自分らしく生活し、困った時や非常時には互いに助け合い、支え合うまちづくり」を目指し、さらに取り組みは続きます。



家具固定講習会（2016年11月、高齢者施設）



真土ふれあい音楽隊（2016年8月、大野公民館）

3.11を忘れない

WE21ジャパン・グループ、 各地域NPOの 東日本大震災復興支援

東日本大震災から6年が経とうとしていますが、被災した方々の中には生活再建への道すじが立っていない方々もいらっしゃると思います。私たちにはどのようなことができるのでしょうか？

WE21ジャパン・グループでは、各ショップで、または地域NPOが共催して、様々な支援活動を企画しています。皆さまのご参加をお待ちしています！

日付	お問い合わせ先	内 容
1月16日～3月31日	WEショップえびな店	3.11忘れないキャンペーン(東北物産品販売)
2月25日	WE21ジャパン青葉、こうほく、つるみ、みどり	講座「放射能と子どもたちの未来 —たらちねからの報告—」
3月1日～11日	WEショップつるみ店	保養ネット横浜 写真展
3月1日～20日	WEショップあおば青葉台店、あざみ野南店	「3.11甲状腺がん子ども基金」店頭募金
3月1日～31日	WEショップあおば青葉台店	「東日本大震災復興支援」東北産品販売
3月1日～31日	WEショップみやまえ店	福島復興支援の店頭募金キャンペーン
3月5日	WEショップつづき店	あったか復興支援「わすれない3.11」出店
3月6日～11日	WEショップさいわい店	東日本大震災復興支援デー
3月9日～10日	WEショップえびな店	3.11忘れないディ(売上げを被災地支援に)
3月9日～11日	WEショップ藤沢店、湘南台店、鵜沼海岸店	3.11をわすれない 復興支援バザール
3月10日	WEショップおだわら城山店	東北支援チャリティセール～東北物産展同時開催～
3月10日～11日	WEショップ旭店	東日本復興応援ディ(食品等の販売、売上げ全額支援)
3月11日	WEショップあおば青葉台店	WE講座「震災から学ぶ—命を守る整理・収納」
3月11日	WEショップさかえ店	「3.11をわすれないDAY」全品半額!東北の産品も販売
3月11日	WEショップさむかわ店	東日本大震災支援 売上げ全額寄付
3月11日	WEショップたかつ店	東日本大震災支援 売上げ全額寄付
3月11日	WEショップみどり店	売上げ全額寄付(NPO桜ネットワークの桜植樹活動へ)
3月11日～18日	WEショップやまと店	3.11を忘れないキャンペーン(売上げ・募金を支援金に)
3月11日～	WEショップこうほく大倉山店、日吉店	「3.11を忘れない」いわきスカイストア品販売
3月17日	WE21ジャパン旭、いずみ、ほどがや	シンポジウム「自分で選べたい!原発に頼らないエネルギー」

「報告」

ジンジャーティフェアトレード事業

■■■■■■■■ モニタリング@フィリピン ■■■■■■■■

2016年11月29日から12月1日
にかけ、フェアトレード・ジンジャー
ティの生産地を訪問してきました。

住民組織ウバパスは、ジンジャーティ生産の経験が一番長く、以前は高齢のベテランたちが多い組織でした。しかし世代交代を図り、代表は若い男性のハビーさんになり、副代表、事務局長、会計等の役員を若い女性たちが担うようになりました。現在もその流れは継続しており、経験豊富なベテランたちが、若い役員の活動を支える体制ができています。ジンジャーティを町のカフェにも卸しており、現地でも販路が広がっています。



ウバパスの若き役員たち

ダイヨコンの品質管理
担当のメリアさん



一方、住民組織ダイヨコンは若いお母さんたちが多い組織で、訪問したホールでもたくさんのお子さんが迎えてくれました。ダイヨコンは現在、助成金を申請し、ジンジャーティ製造所の建設を目指しています。その過程で、フィリピン食品医薬品局の認証を取得する等、新しい動きも生まれています。

品質管理担当者による、完成品のチェックも実施されていました。訪問する度に新しいメンバーが増え、エンパワーメントした成果を見せてくれる住民組織のメンバーたち。皆さんも、温かいジンジャーティを飲んで応援してください！



フェアトレードジンジャーティ ¥850
WE21ジャパンのホームページからもご購入いただけます



今年も開催！ WEフェスタ春 2017

……もったいないは世界につながる……

日時：3月12日(日) 11:00-17:00

会場：横浜産貿ホール 1F展示場

みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口より徒歩約3分

今回で13回目となるチャリティバザール&イベント「WEフェスタ春2017」、今年は会場を山下公園からほど近い「横浜産貿ホール」に移し、規模も内容もさらにパワーアップして開催します。

- 全国からの寄付品販売（衣類、食器、バッグ、靴、着物など）、リメイク品販売、フェアトレード品の試飲・販売
- WE21 ジャパン・グループの活動紹介
- リメイク・ワークショップ
- 3.11を忘れない企画（復興マルシェ、写真パネル展示、すいとん販売）

★そのほか、他団体や企業によるエコ展示やリメイク品、フェアトレード品の販売、ワークショップ、ステージでのお楽しみイベント、キッズコーナーなど、楽しい企画が盛りだくさんです。皆さまのお越しをお待ちしています！



会員になって活動にご参加ください

WE21グループは39のNPO法人がそれぞれ会員を募集しています

● WE21 ジャパン ●

年会費	正会員	10,000円(個人) 50,000円(団体)
	賛助会員	6,000円(個人) 10,000円(団体)
	郵便局振替	00210-9-46086 (特非)WE21ジャパン
お問合せ	TEL	045-264-9390
	info@we21japan.org	※HPからもお申込みできます。

● WE21 ジャパン地域NPO ●

神奈川県を中心に38のWE21地域NPOがあります。

年会費	1,000円～ (地域NPOによって金額が異なります)
お問合せ	各WE21ジャパン地域NPOへ直接お問い合わせください。(本誌裏面参照)

ボランティア募集

WE21ジャパン・グループのWEショップ(56店舗)・事務所で活動しませんか？

● WEショップ ●

販売・仕分け・広報などの活動。お気軽にご参加ください。
お問い合わせ先:お近くのWE21地域NPOまたはWEショップ

● WE21 ジャパン ●

事務所・エコものセンター・イベントなどの活動。
お問い合わせ先:WE21ジャパン事務局

寄付品のお願い

おうちのまだキレイな衣類や日用雑貨をお近くの「WEショップ」へご寄付ください。販売収益からアジアを中心とする民際協力・東日本被災地支援に活用されます。遠方の方はWE21ジャパンまでお問い合わせください。

企業・団体の方へ

衣類・日用雑貨の寄付、職場でのバザー、講座開催、イベント協賛・後援などに関心のある企業・団体の方はWE21ジャパンまで。

編集後記

東日本大震災後、自分でも水や食料、衛生用品などを備蓄するようになり、なんとなく満足していました。でも、大きな被害を受けた場合には、それでは不十分だということを実感しました。まずはご近所さんともっと仲良くなりたいと思います。(古賀)

たくさんのご協力を ありがとうございます

<団体・企業名>

アメリカン・エクスプレス・インターナショナル、Inc. メンバーシップ保険デスク/さくら歯科クリニック/(株)ハルメク(旧いきいき)/(株)マクロミル/(株)C'z SHARELY CODE/(株)プロマックス/(株)宮本製作所/極東興業(株)/桑沢デザイン研究所同窓会/浄蓮寺/(特活)アーユス仏教国際協力ネットワーク/(特活)シェア=国際保健協力市民の会/日本アイアンドオーシー(株)/(有)タケカワオフィス/(有)ティーケーライン/(有)ライム/(株)インテリ
アタカギ/匿名13団体・企業(順不同、敬称略)

2016年6月～11月分

全国の皆さまからの物品寄付 総数1,142件

WE21ジャパン・グループ

NPO	住所	TEL	NPO	住所	TEL
WE21ジャパン厚木	厚木市中町3-18-5	046-296-2555	WE21ジャパン青葉	横浜市青葉区あざみ野南2-4-3	045-915-9606
WE21ジャパン相模原*	相模原市若松4-13-3	042-744-9799	WE21ジャパンかながわ*	横浜市神奈川区西神奈川13-16-1	045-633-1537
WE21ジャパン海老名*	海老名市中央1-14-46-103	046-235-4047	WE21ジャパンほどがや*	横浜市保土ヶ谷区川辺町2-2 A103	045-334-5140
WE21ジャパン大和	大和市福田1-9-4-107	046-269-1343	WE21ジャパンなか	横浜市中区本牧町1-98-2	045-232-4082
WE21ジャパンざま	座間市入谷5-1853-33	046-251-3720	WE21ジャパン旭*	横浜市旭区中希望が丘101-21	045-364-3277
WE21ジャパン伊勢原	伊勢原市石田670-7	0463-96-5752	WE21ジャパンみどり	横浜市緑区中山町218	045-937-2656
WE21ジャパンあやせ	綾瀬市寺尾中1-8-3	0467-78-8178	WE21ジャパンつるみ	横浜市鶴見区豊岡町13-29	045-573-3235
WE21ジャパンひらつか*	平塚市代官町11-30	0463-22-5258	WE21ジャパン都筑*	横浜市都筑区茅ヶ崎中央30-14	045-948-5596
WE21ジャパンおおいそ	中郡大磯町国府本郷871	0463-51-6481	WE21ジャパンこうほく*	横浜市港北区日吉2-12-7	045-563-1808
WE21ジャパンにのみや	中郡二宮町二宮1308-1	0463-71-4421	WE21ジャパンせや	横浜市瀬谷区三ツ境21	045-391-7410
WE21ジャパン藤沢*	藤沢市藤沢1102	0466-24-6002	WE21ジャパンいずみ*	横浜市泉区中田東3-16-5	045-802-0095
WE21ジャパンちがさき	茅ヶ崎市共恵1-6-20	0467-88-6015	WE21ジャパンいそご	横浜市磯子区森2-1-10	045-761-3198
WE21ジャパンおだわら	小田原市栄町2-11-34	0465-23-2909	WE21ジャパン港南	横浜市港南区港南台3-16-1	045-832-7343
WE21ジャパン寒川	高座郡寒川町岡田351	0467-75-8141	WE21ジャパンかなざわ	横浜市金沢区泥亀1-18-8	045-788-4248
WE21ジャパンたかつ*	川崎市高津区溝口3-15-8	044-829-5238	WE21ジャパンとつか*	横浜市戸塚区矢部町291	045-866-0088
WE21ジャパンさいわい	川崎市幸区南幸町2-13-1-1	044-533-1248	WE21ジャパンさかえ	横浜市栄区公田町514-9	045-895-7009
WE21ジャパンたま	川崎市多摩区中野島6-29 4号棟101	044-945-2427	WE21ジャパンみなみ	横浜市南区南太田3-5-4	045-715-4410
			WE21ジャパンよこすか*	横須賀市根岸町3-15-12	046-837-1788
WE21ジャパンみやまえ	川崎市宮前区土橋3-2-6-103	044-854-6561	WE21ジャパンすみだ	東京都墨田区八広3-39-5-1	03-6657-3035
WE21ジャパンあさお	東京都稲城市平尾2-16-10	042-331-4919	WE21ジャパン*	横浜市中区山下町70-6F	045-264-9390

* 認定NPO法人（ご寄付いただくと寄付控除の対象となります）

※WE21ジャパン地域NPOがWEショップを運営しています。すべてのNPOで、会員、寄付金を受け付けています。

WE21ジャパンのビジョン

私たちは、地球に住み暮らすあらゆる人々が、生きるために必要な条件や権利が公正なルールによって保障され、自律した地球市民として行動できる社会の創造をめざします。

WE21ジャパンのミッション

私たちは、地球規模で起きている資源の奪い合いや環境破壊・貧困をなくし、環境や人権について考え・行動する市民を地域に拡げます。そして次世代へ希望ある市民社会をつなぐために、一人ひとりが身近にできることから実践します。

WE21ジャパンニュース No.77

発行 2017年1月25日
発行責任者 藤井あや子

認定NPO法人WE21ジャパン

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町70 土居ビル6階

Tel 045-264-9390 Fax 045-264-9391

E-mail: info@we21japan.org

URL: http://www.we21japan.org/

WE21ジャパンニュース「めぐりめぐる」は再生紙を使用しています。

デザイン・制作：企業組合エコ・アド／8,000 頒価 200 円